



# そら豆

そら豆は 空に向かって 豆がなります。また 腎臓の形は そら豆に似ています。皆様の 気持ちも 上を向きますように…

## 感染対策を日常に

コロナ感染症に対応を迫られてから、3年が経過しました。入学時マスクで知らなかった友達の顔を卒業式で見て違和感を覚えた生徒や、マスクが日常化したため、素顔を見せることが恥ずかしく感じる学生がいたそうです。

- 愛媛県のホームページでも感染者数の毎日の発表から週間発表に切り替わり、マスク着用も任意という形になりました。これから暑い夏を迎えるにあたり、開放感に喜びを隠せませんが、透析患者様へのお願いです。第5類に移行になったとはいえ、透析患者様は感染しやすく、重症化しやすいというターゲットがあります。県からのお願いと重なりますが、左記の継続のご協力をお願いします。
- 定期的換気とこまめな手洗い
- 咳エチケット
- 効果的な場面でのマスク着用
- 感染回避行動



中でも咳エチケットは、以前に比べ周囲の反応は敏感で、嫌悪感の強いものになっています。咳が長引く場合は早めの受診で対応をお願いします。

## NEW

## ホームページの透析センター内容をリニューアルします

透析センターでは新しい試みとして「運動療法」や「骨粗しょう症の治療」「レオカーナ治療」「ACP活動」への介入をしています。今までの活動をもとに、もっと患者様の個性に対応できるチーム体制になりました。また、近年の導入患者様の高齢化と、透析治療の長期化に伴った合併症の予防を鑑みて、全人的な治療を安全に提供できる努力をしています。以降各チーム活動を紹介します。

### CKD外来(ACP)チーム

外来や総合医療支援室・病棟と連携し、透析導入前から透析導入後までの継続した看護を提供できるよう活動しています。慢性腎臓病について理解を深め、円滑な治療が継続できるよう支援していきます。

『人生会議』(アドバンス・ケア・プランニング)という言葉はご存知でしょうか？医療従事者と、患者様・ご家族様とこれからの治療やケアについて話し合いを重ねていくプロセスの事です。患者様の価値観・意向を尊重した支援が行えるよう関わっていきたくと考えています。ACPに関する資料をロビーに掲示しています。相談したい事やちょっとお話ししたいことがあれば、いつでもお知らせ下さい。

### 医療安全推進チーム

患者様も安心・安全な透析治療をうけていただくよう環境や医療体制を整えるよう努めています。重大事故防止に向けた取り組みを始め、転倒やシャント感染の予防、集団院内感染防止のため、スタッフ全体で協力しています。

### バスキュラーアクセスチーム

バスキュラーアクセスとは血液透析を行う際に、血液を脱血したり、返血したりするためのアクセスルートで透析患者様には必要不可欠なものです。

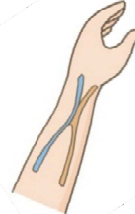
チーム活動の一環としてバスキュラーアクセスが長期間維持できるように、シャントトラブルの予防と早期発見に努めています。

特に夏場は、シャントを長持ちさせるためにも、脱水によるシャントの閉塞・狭窄・感染への予防に心がけ、患者様ご自身でも自己管理に十分気をつけてください。ぜんじんきょう(患者会)の冊子に参考になる文献がありましたので、ご興味のある方はスタッフに声をかけてください。

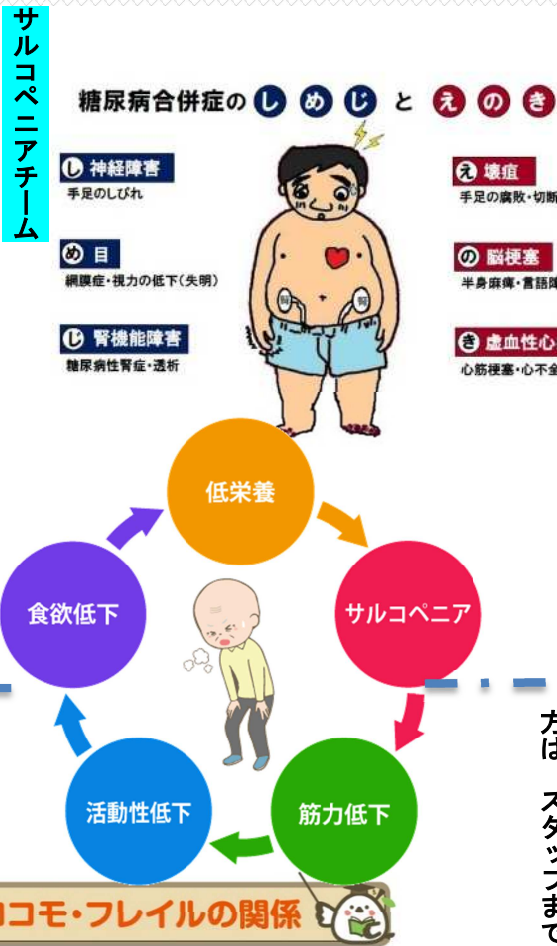
### 条件チーム

チームメンバーにて、採血結果をもとに患者様に、より良い透析治療を提供できるよう、注射・内服薬などの変更などの検討を主治医へ提案や相談など行っています。透析センターの看護師が毎月の検査の結果をもとに、食事内容の確認、内服状況の確認を声かけさせていただくこともあると思いますが、ご協力をお願いします。

### DM(糖尿病)チーム

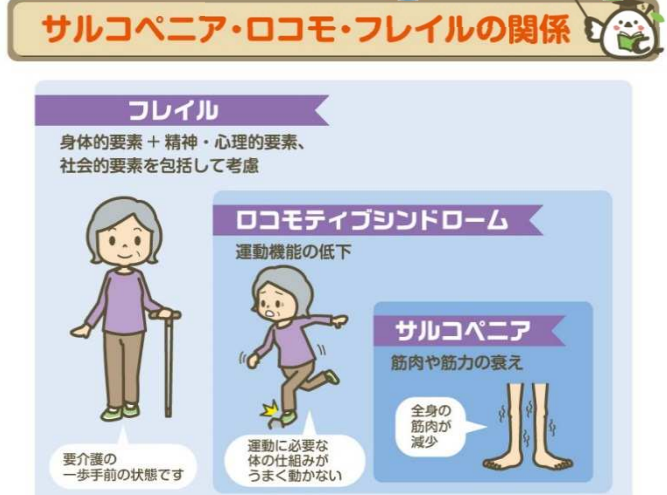


糖尿病の3大合併症に腎症・網膜症・末梢神経障害があります。毎月の動脈に触れ・観察し、足病変の早期発見、予防に努めています。2020年8月下旬潰瘍の改善を目的とした治療、血液浄化療法(レオカーナ)が承認され、2021年12月より当院でも治療を開始しています。まだまだ症例件数は少ないですが、潰瘍が改善し、少しでも苦痛が緩和し日常生活が送れるようにサポートできたらと、多職種と連携し取り組んでいます。



サルコペニアと骨粗鬆症は関連しており、サルコペニアそのものが骨粗鬆症と骨折の危険因子といわれています。

ます。また透析治療中の4〜5時間の無運動状態がサルコペニア・フレイルを加速させる要因にもなります。2022年度から順次、骨密度検査を実施、結果により骨粗鬆症治療を開始しています。また、透析導入3ヶ月以降の患者様へ運動療法の働きかけも行っています。ADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)を維持し、いつまでも自宅から透析に通える手助けができればと考えています。運動療法を是非やってみたいとお考えの方は、スタッフまでお知らせ下さい。



災害チーム  
いつ起こるか分からない災害に対して、備える活動をしていきます。当院で行っている災害対策を紹介させていただきます。

- 災害カード  
患者様各自の透析条件を記入したカードを、毎月更新し配布しています。災害などの緊急時紹介がなくても条件が分かるようにしています。
- 緊急連絡先の確認  
年度初めに変更がないか確認します。安否確認や緊急連絡用に使用します。
- 赤札(体重測定カード裏)  
車いすの利用などで、災害時に一人で移動が困難と思われる患者様の体重カード裏に、赤いシールを貼っています。誰が援助が必要か一目で分かるようにしています。
- 防災訓練の実施  
透析中の緊急離脱や地震時の対応など、患者様参加型の防災訓練を行っています。
- 災害時透析拠点病院の役割  
災害時の水や電源の確保、ダイヤライザーや透析回路の備蓄。今治市内における透析病院やクリニックとの定期的な情報交換。

